

図のように、等脚台形が線分により2つに区分されていて、甲、乙、丙、丁の各円が1個ずつと、戊円が2個それぞれ接して容れてあります。

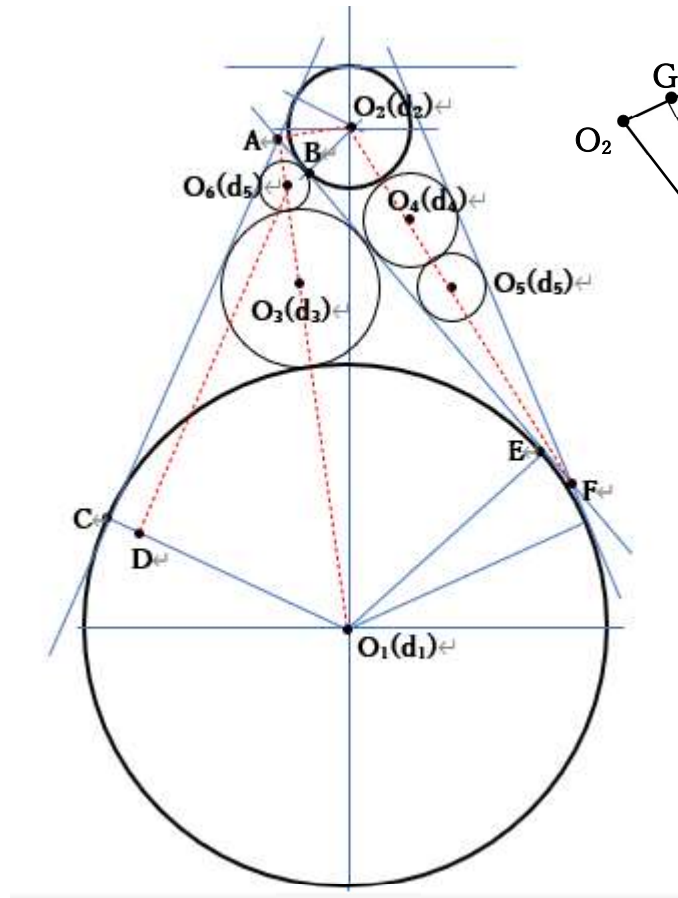
甲円の直径が81寸、乙円の直径が16寸のとき、戊円の直径は、何寸でしょうか？

(寸を単位として帯分数で表して下さい。)

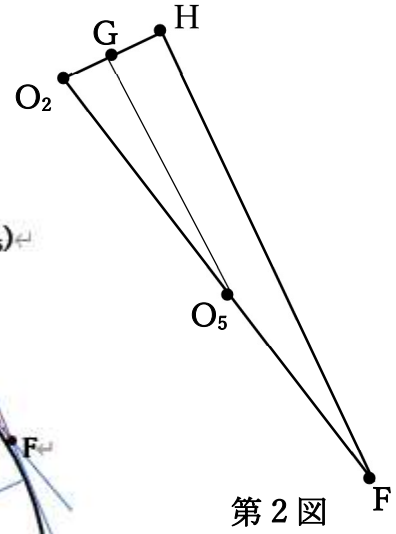
「神壁算法 (じんぺきさんぼう)」 第37問 から作成

(埼玉の算額4 川越 八幡宮 第2問)

2月 問題3



第1図



第2図

(解答)

甲円、乙円、丙円、丁円、戊円の直径をおのおの d_1, d_2, d_3, d_4, d_5 とし、各円の中心を第1図に示すように $O_1, O_2, O_3, O_4, O_5, O_6$ とする。また、各点の符号を図示の通りとする。

ステップ1 (径 d_1, d_3, d_5 の関係を求める)

三角形 O_6DO_1 に3平方の定理を適用する。

$$(O_1O_6)^2 = (O_6D)^2 + (O_1D)^2$$

$$\left(\frac{d_1}{2} + d_3 + \frac{d_5}{2}\right)^2 = (\sqrt{d_1d_3} + \sqrt{d_3d_5})^2 + \left(\frac{d_1}{2} - \frac{d_5}{2}\right)^2$$

$$d_1d_5 + d_3^2 - 2d_3\sqrt{d_1d_5} = 0$$

$$(\sqrt{d_1d_5} - d_3)^2 = 0$$

$$\therefore d_3 = \sqrt{d_1d_5} \quad \dots (1)$$

ステップ2 (径 d_2, d_4, d_5 の関係を求める)

ステップ1と同様に、3角形 O_2O_5G に3平方の定理を適用する。

$$\begin{aligned}
(O_2O_5)^2 &= (O_2G)^2 + (GO_5)^2 \\
\left(\frac{d_2}{2} + d_4 + \frac{d_5}{2}\right)^2 &= (\sqrt{d_2d_4} + \sqrt{d_4d_5})^2 + \left(\frac{d_2}{2} - \frac{d_5}{2}\right)^2 \\
d_2d_5 + d_4^2 - 2d_4\sqrt{d_2d_5} &= 0 \\
(\sqrt{d_2d_5} - d_4)^2 &= 0 \\
\therefore d_4 &= \sqrt{d_2d_5} \quad \dots (2)
\end{aligned}$$

ステップ3 (線分 AC と線分 FH の長さを調べる)

直線 AF は、円 O_1 と円 O_2 の共通内接線であるから、線分の長さ AB と EF は等しくなる。この性質を適用すると、以下の関係となる。

$$AC = AE = AB + BE = EF + BE = BF = FH$$

となり、結局 $AC = FH$ となる。

ステップ4 (線分 AC の長さを求める)

線分 BD の長さは、次式で与えられる。

$$(BD) = \sqrt{d_5d_3} + \sqrt{d_3d_1}$$

三角形 O_1O_6D と三角形 O_1AC は相似であるから、線分 AC の長さは、次式で与えられる。

$$(AC) = \frac{d_1}{d_1 - d_5} (\sqrt{d_5d_3} + \sqrt{d_3d_1}) \quad \dots (3)$$

ステップ5 (線分 FH の長さを求める)

線分 GO_5 の長さは、次式で与えられる。

$$(GO_5) = \sqrt{d_2d_4} + \sqrt{d_4d_5}$$

三角形 O_2O_5G と三角形 O_2FH は相似であるから、線分 FH の長さは、次式で与えられる。

$$(FH) = \frac{d_2}{d_2 - d_5} (\sqrt{d_2d_4} + \sqrt{d_4d_5}) \quad \dots (4)$$

ステップ6 (戊円の径を求める)

ステップ3で示したように、 $AC = FH$ であるから、(3)式=(4)式とおき、さらに d_3 、 d_4 に(1),(2)を代入する。

$$\begin{aligned}
\frac{d_1}{d_1 - d_5} (\sqrt{d_5d_3} + \sqrt{d_3d_1}) &= \frac{d_2}{d_2 - d_5} (\sqrt{d_2d_4} + \sqrt{d_4d_5}) \\
\frac{d_1}{d_1 - d_5} \left(\sqrt{d_5\sqrt{d_1d_5}} + \sqrt{\sqrt{d_1d_5}d_1} \right) &= \frac{d_2}{d_2 - d_5} \left(\sqrt{d_2\sqrt{d_2d_5}} + \sqrt{\sqrt{d_2d_5}d_5} \right)
\end{aligned}$$

両辺を平方する。

$$\left(\frac{d_1}{d_1 - d_5}\right)^2 (d_5\sqrt{d_1 d_5} + 2d_1 d_5 + \sqrt{d_1 d_5} d_1) = \left(\frac{d_2}{d_2 - d_5}\right)^2 (d_2\sqrt{d_2 d_5} + 2d_2 d_5 + \sqrt{d_2 d_5} d_5)$$

$$\left(\frac{d_1}{d_1 - d_5}\right)^2 \sqrt{d_1 d_5} (d_5 + 2\sqrt{d_1 d_5} + d_1) = \left(\frac{d_2}{d_2 - d_5}\right)^2 \sqrt{d_2 d_5} (d_2 + 2\sqrt{d_2 d_5} + d_5)$$

$$\left(\frac{d_1}{d_1 - d_5}\right)^2 \sqrt{d_1} (\sqrt{d_5} + \sqrt{d_1})^2 = \left(\frac{d_2}{d_2 - d_5}\right)^2 \sqrt{d_2} (\sqrt{d_2} + \sqrt{d_5})^2$$

ここで題意より、 $d_1=81$ 寸、 $d_2=16$ 寸を適用し、 $\sqrt{d_5}$ について解くと、

$$\sqrt{d_5} = \frac{684}{211} \text{ or } \frac{252}{55}$$

を得る。上式を平方すると、

$$d_5 = \frac{467856}{44521} = 10 \frac{22646}{44521} = 10.5809$$

or

$$d_5 = \frac{63504}{3025} = 20 \frac{3004}{3025} = 20.99306$$

となる。上記2個の解答に対してどちらが妥当であるかを調べる。題意より、 $d_5 \leq d_2$ であるから、 d_2 として上側の

$$d_5 = \frac{467856}{44521} = 10 \frac{22646}{44521}$$

が妥当である。

(答 戊円直径 = $10 \frac{22646}{44521}$ 寸)